

## 第38回全日本クラブ卓球選手権大会青森県予選会開催要項

- 1 日 時 2019年5月6日(月・祝) 開館 8:00 開始 9:00
- 2 会 場 新青森県総合運動公園体育館(マエダアリーナ・サブアリーナ)
- 3 主 催 青森県卓球連盟
- 4 種 目 団体戦 (イ) 男子:一般の部1部 (ロ) 女子:一般の部1部  
(ハ) 男子:一般の部2部 (二) 女子:一般の部2部  
(ホ) 男子:50代の部 (へ) 女子:50代の部  
(ト) 男子:60代の部 (チ) 女子:60代の部  
(リ) 男子:小・中学生の部 (ヌ) 女子:小・中学生の部
- 5 競技ルール 1) 現行の日本卓球ルールによる。  
2) 全試合、11ポイント5ゲームで行う。  
3) 使用球はJTTA公認プラスチック球;40mmホワイトのみを使用する。  
4) ゼッケンは2019年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
- 6 試合方法 競技は、第1ステージはリーグ戦、第2ステージはトーナメントで行う。
- 一般の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番ダブルスに出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
- 50代の部 : 選手は50才以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番ダブルスに出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
- 60代の部 : 選手は60才以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番ダブルスに出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
- 小・中学生の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名(小・中学生のみ)を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス1ダブルスで編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番ダブルスに出場した選手は2番のシングルスには出場できない。  
この場合の出場順は次の通りとする。
- | 1                     | 2   | 3                 | 4   | 5                 |
|-----------------------|-----|-------------------|-----|-------------------|
| <u>小・中学生 or 小学生同士</u> | 小学生 | 中学生 or <u>小学生</u> | 小学生 | 中学生 or <u>小学生</u> |

※ シングルスとダブルスの2試合に出場できるが、シングルスのみ2試合出場することはできない。

- 7 参加資格 1) 参加者は2019年度、(公財)日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の(公財)日本卓球協会新規選手登録は認められない。また、日学連・高体連に加盟している者は出場することが

できない。

- 2) 参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。  
(平成30年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。)
- 3) 出場選手は同一年度に一人一種目までとする。
- 4) 卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- 5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- 6) 予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。
- 7) 外国籍の選手(日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く)は1試合1名1ポイントに限って参加資格が得られる。  
(シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。)
- 8) 本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共レディース2019・第42回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。
- 9) 一般の部1、2部男・女は、第69回全日本実業団選手権大会(本大会)出場選手(参加登録者を含む)は出場できない。
- 10) 一般の部2部男・女
  - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間、(‘16～‘18年度)下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
  - ②過去3年間(‘16～’18年度)下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。(過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となります)
  - ③全日本実業団選手権大会(予選会を除く)に参加したことの無い企業チーム。※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。  
全国大会 ①全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)  
②全日本選手権(団体の部) ③全日本社会人選手権  
④国民体育大会 ⑤インターハイ(シングルス・ダブルス)  
⑥全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)
- 11) 50代の部男・女は、1970年(昭和45年)4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(50才以上)
- 12) 60代の部男・女は、1960年(昭和35年)4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(60才以上)
- 13) 小・中学校の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。
- 14) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお大会後に発覚した場合は、成績(ランキング)を剥奪し、当該チームと登録監督・コーチ及び選手は翌年度の本大会に出場することはできない。

8 代表数 全種目 男女各1チーム

9 参加料 男女一般の部1部・2部 4,000円 男女50代の部 4,000円  
男女60代の部 4,000円 男女小・中学生の部 3,000円

10 申込締切日 2019年4月18日(木) 必着

- 11 申 込 先 〒030-0123 青森市大矢沢字里見111-1  
国際交流センター 青森県卓球連盟事務局  
TEL 017-728-7800 FAX 017-728-3977  
Eメール : aotakuren@aomori-u.ac.jp  
※FAXで申込の場合は、必ず着信確認をして下さい。  
※Eメールで申込の場合は、青森県卓球連盟ホームページより申込書をダウンロードの上、必要事項を入力しメールにて送付ください。  
事務局より受信確認後、空メールを返信いたします。返信のない場合はご連絡ください。
- 12 組 合 せ 組合せ委員会で行います。
- 13 本大会日程 期日 2019年10月11日(金)～14日(月・祝)  
会場 福島県：郡山総合体育館 TEL 024-934-1500
- 14 そ の 他 ①予選会参加申込数などにより変更することがあります。確定次第、ホームページにて掲載いたしますのでご承知おき下さい。  
②本大会(福島県開催)と2019年度全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)青森県予選会の開催期日が重なっておりますので、予めご留意ください。